

【技術分類】 3-1-9 施設、機械、器具／共通施設、機械、器具／浸水施設

【技術名称】 3-1-9-1 浸水施設・浸水槽

【技術内容】

浸水工程は、菌糸に温度と水分の刺激を与えて子実体の発芽を促すことを目的に原木シイタケ栽培や菌床シイタケ栽培の一部で行われている。

これに使用される設備は、浸水槽と呼ばれるコンクリート製や鉄製（図1）の固定式水槽が一般的であるが、移動式のプラスチック製浸水槽（図2）も利用されている。

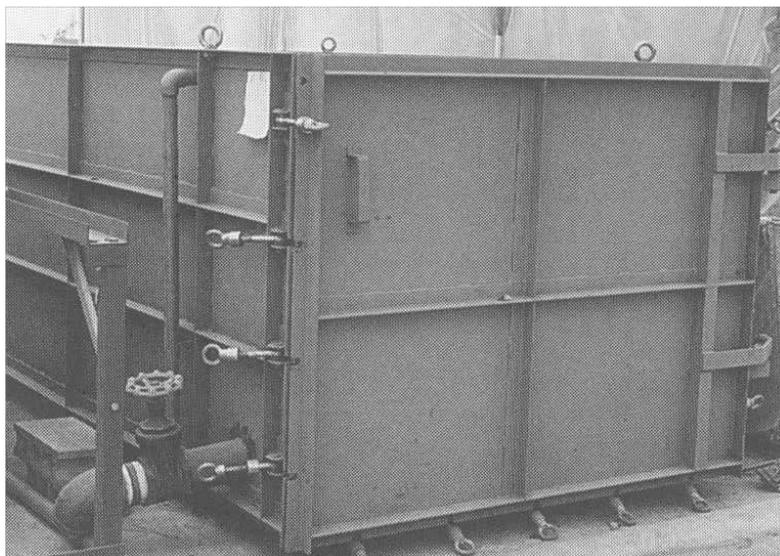
固定式水槽の現行方式には、地下式、半地下式、地上式があるが、原木栽培用としては、ホダ木の浸水とホダ上げの作業効率を考え、半地下式が推奨されている。このような半地下式コンクリート水槽では、幅1.3m×長さ4m×深さ1m程度のものが一般的である<sup>1)</sup>。

菌床栽培の場合は、袋から取り出した菌床をそのまま浸水する場合もあるが、一般的にはプラスチックコンテナに積み重ねて浸水させる。

ホダ木にしろ、菌床にしろ、いずれも水に浮き、数がまとまるとかなりの浮力となるので、浮かないように上部を押さえて浸水させる必要がある<sup>2)</sup>。

【図】

図1 鉄製浸水槽



出典：「III ホダ木づくり 7 懸垂移動式省力栽培法（らくなー栽培）」、最新シイタケのつくり方、1992年1月25日、財団法人日本きのこ研究所編、社団法人農山漁村文化協会発行、74頁 図III-38 専用浸水槽

図2 プラスチック製浸水槽



出典：「五、空調栽培 6、二番以降の発生」、菌床シイタケのつくり方、鮎沢澄夫著、大森清寿編、  
社団法人農山漁村文化協会発行、134頁 図49 浸水槽 ポリ浸水槽

【出典／参考資料】

- 1) 「原木シイタケ栽培施設・資機材」、2005年度版 きのこガイドブック、2005年4月1日、一場西一、石川正明著、株式会社特産情報 きのこガイドブック編集部編、92-100頁
- 2) 「五、空調栽培 6、二番以降の発生」、菌床シイタケのつくり方、鮎沢澄夫著、大森清寿編、社団法人農山漁村文化協会発行、131-136頁
- 3) 「菌床シイタケ栽培施設・資機材」、2005年度版 きのこガイドブック、2005年4月1日、井上貞行著、株式会社特産情報 きのこガイドブック編集部編、92-100頁